



**Doado pelo
Povo Japonês**

草の根・人間の安全保障無償資金協力

日本国政府、ロンドリーナ・グアルダ・ミリン母子保護協会に対し教室を供与

平成27年7月14日、平成26年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ロンドリーナ・グアルダ・ミリン青少年支援センター増築計画」（供与額：総額US\$89,501（約220,174.14レアル））の供与式がパラナ州ロンドリーナ市のロンドリーナ・グアルダ・ミリン母子保護協会が行われました。

供与式には、当館から池田敏雄在クリチバ日本国総領事、被供与団体であるロンドリーナ・グアルダ・ミリン母子保護協会側からキミコ・ヨシイ会長、アツシ・ヨシイ A. Yoshii 建設会社代表取締役社長、マリア・ダス・グラス・ヴィセリ理事、クラウジオ・デ・メロ・コーディネータ、ジョゼ・カルロス・スパギノーロ工事責任者、セルジオ・リカルド・松本ロンドリーナ文化体育協会（ACEL）会長、カルメン・ルシア・スposチ理事等、同協会関係者約100名が出席しました。

ロンドリーナ・グアルダ・ミリン母子保護協会が運営するグアルダ・ミリン・青少年サポートセンターは1965年に設立され、社会的に脆弱な青少年の支援を行ってきました。同協会では13歳から18歳の低所得家庭の若者達に教育サポートを行い、工芸、音楽、ダンス、コーラス等の講座を通じて問題を抱える青少年達を更生し、さらに工場生産科、食品製造科、事務科、情報科等の職業訓練講座を提供し、彼らの独立および社会参加を支援しています。この50年間、同協会は活動範囲を拡大し、受け入れている青少年は現在約520人まで増加し、その需要に応えるため、施設の拡大が急務であったところ、日本政府は、草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて3部屋の教室の増築を支援することとなりました。

供与式で、キミコ・ヨシイ会長は、桜の花が咲き始めたこの時期に美しい桜の花で知られる日本と結ばれ、併せて同協会の設立50周年を祝う事ができ、同協会関係者と共に地元住民の皆様も誇りに思う旨述べたと共に、日本国民及び日本政府を代表される日本国総領事館の寛大さに深く感謝したい旨述べました。

続いて、池田敏雄総領事は、日本国政府は草の根無償資金協力を通じ、ロンドリーナ・グアルダ・ミリン母子保護協会が運営しているグアルダ・ミリン・青少年サポートセンターの要望に応え3教室を増築することに支援ができたことは、大変喜ばしいと思う旨述べると共に、同プロジェクトを通じて、学校が受け入れている約520人の低所得家庭の若者達等、社会的脆弱な青少年達の教育環境が改善されることに加え、待機児童約80人の受け入れも可能となるとし、同団体の更なる活動強化を期待すると共に、日伯両国の友好の絆を一層強化される事を願う旨を述べました。

なお、式典では日本とブラジルの友好のシンボルとして、同地の日系人画家コオイチロウ・オブチ氏より桜の苗木が寄贈され、池田敏雄総領事によって植樹式が行われました。

草の根・人間の安全保障無償資金協力は日本国民の納める税金を財源とし、基礎教育、職業訓練、保健衛生及び社会福祉の分野において発展途上国の社会開発を支援することを目的としています。在クリチバ日本国総領事館は、今後も草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて、パラナ州及びサンタカタリーナ州の社会開発に貢献していく方針です。

【お問い合わせ先】

在クリチバ日本国総領事館

草の根・人間の安全保障無償資金協力

Tel : 041-3362-3663

Email: instituto.apc2015@gmail.com



ヨシイ会長及び池田総領事等出席者



記念のテープカットを行う関係者



式典に出席した関係者達



記念植樹を行うヨシイ会長と池田総領事



完成した教室